



利根町文化センター 秋のコンサート

千住真理子

デビュー50周年記念 ヴァイオリン・リサイタル

◆演奏予定曲目

- 黒人霊歌：アメイジング・グレイス
- J.S. バッハ：G線上のアリア
- パッヘルベル：カノン
- カッチーニ：アヴェ・マリア
- エルガー：愛の挨拶
- クライスラー：愛の悲しみ
- クライスラー：愛の喜び
- クライスラー：プニャーニの様式による前奏曲とアレグロ



ピアノ
山岡 智

－休憩－

- ラフマニノフ：パガニーニの主題による狂詩曲より 第18変奏
- ドルドラ：想い出
- マスネ：タイスの瞑想曲
- デ・クルティス／千住 明編：帰れソレントへ
- ゲーゼ／千住 明編：ジェラシー
- カタロニア民謡：鳥の歌
- スコットランド民謡／千住明 編：蛍の光
- モンティ：チャルダッシュ

※曲目が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

◆プロフィール

2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位。NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。パガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし、話題となる。これまでに多くのCDをリリース。最近では2023年山田洋次監督作品「こんにちば、母さん」のサウンドトラックに参加。また千住明のプロデュースによるアルバム「ARIAS」、2024年はデビュー当時の音源も収録した「ベスト&レア」アルバムをリリース。2025年はデビュー50周年を迎え全国で演奏会を行う。春にはデビューアルバムと同じくCD「メンデルスゾーン&チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲」を発売。

コンサート活動以外にも、講演会やラジオのパーソナリティを務めるなど、多岐に亘り活躍。また、チャリティーコンサート等、社会活動にも関心を寄せている。著書は「聞いて、ヴァイオリンの詩」（時事通信社、文藝春秋社文春文庫）母との共著「母と娘の協奏曲」（時事通信社）など多数。

©Kiyotaka Saito (SCOPE)

2025年10月18日(土)

利根町文化センター

開場 ▶ 13:30

開演 ▶ 14:00

主催・問い合わせ先：利根町文化センター(利根町下曾根 187 番地) TEL 0297-68-7881
受付時間：午前8時30分～午後5時15分(月曜日・祝日は休館)

料 金：2,000 円

※コンサート当日は、入場混雑を避けるため、チケット販売番号順に入場していただきます。

※未就学児のお子様のご入場はできません。

※お一人様2枚までの購入といたします。

販売枚数：500枚

(チケットの返却はできません)

販売日：8月24日(日)

午前8時45分から

販売場所：利根町文化センター